

6月号

きらめき



kirameki
Yamaguchi

2020 June
Vol. 147

山口県看護協会報

idea

看護部の理念

私たちは、患者さんに信頼される看護を行うと共に、
自らも看護に対し責任と誇りをもって行動します。



令和元年5月1日に移転新築により、新病院開院

所在地：〒743-8561 山口県光市光ヶ丘6番1号

当院は、来院される方が「大切にされている」と
感じられる医療と看護の提供、職員からは「魅力
があり、やりがいがある」として選ばれることを目
指しています。



令和2年度山口県看護協会通常総会の開催にあたって

公益社団法人山口県看護協会 会長 西生 敏代



会員の皆様には日頃より協会活動に温かいご支援・ご協力をいただき、心から感謝いたします。

さて、新型コロナウィルス感染症対策の最前線で戦っている日本、全世界の看護職をはじめ、全ての医療従事者に感謝を申し上げるとともに心から敬意を表します。

このパンデミックに懸命に立ち向かう姿を通じ、看護職が真に社会に必要とされる住民に最も身近で信頼される医療専門職であること、その責を果たすには確かな知識・技量が必要であると改めて思いを強くしたところです。

また、現在、本協会では医療体制の堅持、現場の負担軽減や相談件数の増加への対応のために、一人でも多くの潜在看護師の確保のため、ナースセンターへの登録促進に取り組んでいます。皆様のご協力を切にお願いいたします。

こうした中、開催を迎える令和2年度総会につきましては、新型コロナウィルス感染症の拡大を受け、「三つの密（密閉・密集・密接）」の環境をつくらぬよう参集者を代議員のみの参加とし、その代議員も書面議決行使を可能とすることとします。また、各職能集会は中止することにしました。

通常総会を迎えるにあたり、令和2年度の重点方針につきましては、これまでの事業成果を踏まえ前年度の枠組みを踏襲しながら、組織体制の強化として看護の活躍分野の拡がりに対応するため、看護師職能委員会から看護師職能Ⅱを独立することとしています。

今後、行政、関連団体・関係機関間の連携も深め、住民の皆様に最も身近な専門職として、社会変革に対応し地域の皆様が安心して、その人らしい生活を営む社会の一助となれるよう協会員の皆様とともに、取り組んでまいりたいと思っています。

本協会が看護職能団体として「生きるを、ともに、つくる」（日本看護協会タグライン）の役割を果たしていくため、多様な場で活躍する看護職に応じた課題を抽出し、適宜適切な対策を講じてまいりたいと思っておりますので、引き続き皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

結びに、本年度は、看護職自らが看護の魅力に気づき看護力を発揮するための「Nursing Now キャンペーン」に取り組むこととしていますので、重ねてご支援ご協力方よろしくお願いいたします。

受賞者紹介

第48回都道府県医療功労賞

原田訪問看護センター代表 コミュニティプレイス生きいき代表 原田 典子 氏

令和2年 春の叙勲

瑞宝双光章 安岡病院 副院長（看護部長兼） 古本 たつ子 氏

瑞宝双光章 宇部興産中央病院 山本 多賀子 氏

令和2年度 日本看護協会会長表彰

山口県厚生連総務部 看護統括 上田 幸子 氏

山陽小野田市民病院 看護部長 藤谷 圭子 氏



令和2年度重点方針

少子超高齢社会の人口・疾病構造変化を見据えた社会保障制度改革は、病床の機能分化・連携の促進、地域包括ケアシステム構築の推進、また、それを担う医療従事者の確保・勤務環境の改善等の取組が2025年に向けて加速している。さらには、高齢者人口のピークが想定される2040年に向け医療提供体制の改革が進行している。

改革の柱である地域包括ケアシステムは、療養する高齢者だけでなく、子供を産み育てる人々、子供たち、障がいのある人々なども含む全ての人々の生活を地域で支えるものであるとされており、看護においては医療機関や施設等からの視点のみではなく、包括的で切れ目のないケアと、希望する場での暮らしのため地域全体を俯瞰することが求められている。

このためには、看護職一人ひとりの質・能力の向上、多様な場で働く看護職間の連携が不可欠であり、将来を見据えた看護教育の充実や関係機関への働きかけを続ける必要がある。

山口県内の看護職員就業者数は、平成30年12月末時点で25,105人であり、平成28年の同時期と比較すると905人増加している（衛生行政報告例）が、地域や就業場所の偏在により看護職不足が課題となっている。また、子育て支援の充実やワークライフバランスに係る意識変化に伴う夜勤従事者の不足や勤務形態の多様化等により看護の現場では、より強い看護職の不足感があるため、少子化が進む中で看護人材の確保、看護職が生涯を通して健康で働き続けられる環境の整備を推進する必要がある。

本協会が、看護職能団体として「生きるを、ともに、つくる」（日本看護協会タグライン）の役割を果たしていくためには、こうした多様な場に存在する看護職に応じた課題を抽出し、適宜適切な対策を講じることが肝要であり、それを実施できる組織力の強化が必要である。

これらを踏まえ、令和2年度は昨年度の重点方針を踏襲し以下の4点を重点方針として事業を行う。

01 | 地域包括ケアにおける看護力の強化と連携

02 | 看護職の就業と定着の促進

03 | 看護の質の向上とキャリア形成の促進

04 | 組織力の強化

また、多くの人々に看護の存在価値、存在意義についての理解を周知するとともに、看護職自らが看護の魅力に気づき看護力を発揮するための「Nursing Now キャンペーン」に取り組む。

令和2年度 公益社団法人山口県看護協会通常総会

プログラム

日 時 令和2年6月28日(日) 10:00～11:00
場 所 山口県看護研修会館

9:30 開 場
9:50 オリエンテーション
10:00 開 会
物故会員への黙祷・会長挨拶
議長団選出 議事録署名人の指名
議決事項
第一号議案 令和元年度決算報告(案)及び
監査報告
第二号議案 公益社団法人山口県看護協会
定款の一部改正(案)
第三号議案 令和2年度改選役員及び推薦
委員の選出

第四号議案 令和3年度日本看護協会通常
総会代議員及び予備代議員の
選出

報告事項

報告事項1 令和元年度 事業報告
報告事項2 令和2年度 事業計画
報告事項3 令和2年度 収支予算書
選挙結果報告

11:00 閉 会

※新型コロナウイルス感染拡大の影響から、令和2年度通常総会は規模を縮小して開催いたします。日程及び内容につきましては、変更になる可能性がありますので、本協会ホームページをご参照下さい。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解の程、よろしくお願い致します。

令和2年度 改選役員及び推薦委員の選出について

役員候補者(改選13名)

	役 職	氏 名	所 属	職 種
再	会長	西 生 敏 代	公益社団法人山口県看護協会	保 健 師
再	第一副会長	山 本 多賀子	宇部興産中央病院	看 護 師
再	第三副会長	小 西 恵	都志見病院	助 産 師
新	助産師職能理事	大 林 幸 恵	山口労災病院	助 産 師
新	看護師職能Ⅰ理事	亀 永 百合子	済生会下関総合病院	看 護 師
新	看護師職能Ⅱ理事	東 由利子	宇部記念病院	看 護 師
新	地区理事	久 保 しのぶ	周南リハビリテーション病院	看 護 師
新	地区理事	中 村 幸 江	済生会山口地域ケアセンター	看 護 師
新	地区理事	高 見 由美子	宇部興産中央病院	看 護 師
新	地区理事	勝 間 トミ江	山陽小野田市民病院	看 護 師
新	地区理事	後 根 恵美香	全真会病院	看 護 師
新	地区理事	田 中 康 代	国立病院機構関門医療センター	看 護 師
新	監事	上河内 一 枝	光輝病院	看 護 師

推薦委員候補者(定数7)

	氏 名	所 属	職 種
新	藤 谷 正 子	岩国健康福祉センター	保 健 師
新	杉 田 弘 美	周南市地域福祉課	保 健 師
再	長 福 明 美	国立病院機構岩国医療センター	助 産 師
新	山 川 み き	梅田病院	助 産 師
再	中 塚 恵	周南市立新南陽市民病院	看 護 師
新	越 智 良 子	山口県立総合医療センター	看 護 師
新	渡 邊 清 美	宇部興産中央病院	看 護 師

新型コロナウイルス感染拡大 (令和2年5月1日現在)

看護職へのメッセージ

新型コロナウイルス対応の特別措置法に基づく緊急事態宣言が、4月16日に全国に拡大しました。山口県においても3月4日に県内で初めて感染者が確認されて以来、現在までに32人の感染者が発生し、感染拡大が続いています。

看護職の皆様は、保健所、病院、施設、訪問看護ステーション、診療所等様々な場で、感染の脅威の中で戦われています。ご自身や家族の感染への不安や社会からの差別的な言葉、マスクを始めとする防護具の不足など、辛い状況の中で、頑張られていることに感謝いたします。どうぞ、ご自身の健康にも十分ご注意ください。

県看護協会でも看護職の皆様と気持ちを共有し、看護職を支援して参ります。

山口県看護協会 役職員一同

山口県看護協会の取り組み

1. 現場の声を行政や日本看護協会、関係機関等につなぎます
 - ・ 看護管理者の方からの声を集めます
 - ・ 看護職からの声が届くように、相談窓口を設けます ★ 相談窓口 / 電話番号：0835-24-5790
2. 看護職の復職を推進
 - ・ 山口県ナースセンターへの登録者を増やし、求人施設とのマッチングを推進します
 - ・ 会員ひとり一人に、知人・友人の方のご紹介を依頼します
3. 県民に対して、頑張っている看護職への理解と協力が得られるように働きかけます

皆様のお手元に、きらめきが届く6月の初めには、現在(5月1日)の状況が、いくらかでも好転していることを願っています。

マスクの寄付をいただきました



マスクを手渡す山口スマートコミュニティ支援センターの高杉代表様(左)と篠田晃山口大学医学部長(中央)、紙支部支部長(右)

4月14日、新型コロナウイルス感染症予防のため、特定非営利活動法人山口スマートコミュニティ支援センター様(山口市：高杉英利代表)から、宇部支部にマスク1,000枚の寄付をいただき、山口大学医学部部長室において、同法人の高杉代表から、紙支部長に手渡されました。紙支部長は、「支部員で分け合って大切に使ってまいります。」とお礼を述べました。

4月15日、新型コロナウイルス感染症予防のため、東洋羽毛中四国販売株式会社山口営業所様から、山口県看護協会にマスク2,000枚の寄付をいただきました。同社の平木山口営業所長様から、当会西生会長にマスクが手渡され、西生会長は「ご支援に深く感謝します。協会の活動に役立てまいります。」とお礼を述べました。



マスクを手渡す平木所長様(右)と西生会長(左)



教育研修会

看護専門職者として、必要な知識・技術・態度の向上を促し、主体的に質の高い看護ケアを提供できるよう自己研鑽しなければなりません。様々な場で生かせるよう、また、基本的な欲求である「食」に着目した研修を計画しました。

令和2年7月4日(土) 13:00～15:00 摂食・嚥下研修



在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業

柳井医療圏の病院・訪問看護ステーション・施設・行政の看護職の連携強化を図るために、研修会を3回開催しました。在宅療養支援に係る地域の課題を見つけだし、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための意見交換をしてきました。

令和2年度は、在宅療養の場を知るための研修や事例紹介などを通じた意見交換など様々な場で働く看護職の連携推進・強化に繋がればと思っています。住み慣れた生活の場に戻れるような支援強化のための学びの場となる予定です。



第2回 3支部合同マネジメント研究会

令和元年2月8日(土)、周南市「学び交流プラザ」多目的ホールにおいて3支部合同マネジメント研究会を開催しました。テーマは「令和元年、今看護職に求められるものを共有しよう」で10題の演題、周南支部110名・柳井支部51名・岩国支部50名の参加がありました。他職種と協働や地域における保健師の活動などの発表も聞け、病院と地域を繋ぐ看護職の果たすべき役割を考えさせられる興味深い内容でした。

第3回は柳井支部が主となり、周東総合病院で開催予定です。多数の参加をお持ちしています。

今後も様々な場所で看護職が連携を図り、地域が求められていることに対応できるよう支部活動に取り組んでまいります。



まちの保健室・国際助産師の日

ゆめタウン山口で乳幼児の身体計測・血圧測定・体脂肪測定・血管年齢測定等を行っています。11月3日には国際助産師の日(いいお産の日)のイベントも行われました。血管年齢とストレス評価ができる機材をお借りして、結果を印刷してお渡しすると好評でした。今後も地域の方々の保健衛生の向上を図り、生涯を通して健康を支え、信頼されるライフサポーターを目指していきます。



地域連携研修会

山口支部地域連携推進委員会では保健・医療・福祉関係機関の連携強化を図ることを目的とした活動を行っています。前年度行った研修の課題の中から地域包括ケアを推進するためには情報が重要との観点から、現在使用している山口支部共通の看護情報提供書の内容の改訂に取り組むことになりました。看護情報提供書の活用状況など現状把握を行い、問題抽出をするための研修を12月14日に病院看護師36名、訪問看護ステーション看護師14名、介護支援専門員18名の68名でそれぞれの職種の立場から必要とする情報についてグループディスカッションしていただき、連携に必要な内容の抽出と課題が明確になりました。なかなか他職種の方の意見を聞く機会がないため今回の研修で顔の見える連携もとれたという声もいただき有意義な研修でした。今年度は今回の研修でまとめた他職種からの貴重な意見をもとに、新たな看護情報提供書の作成に取り組んでいく予定です。





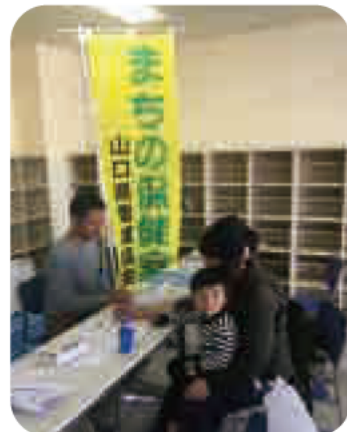
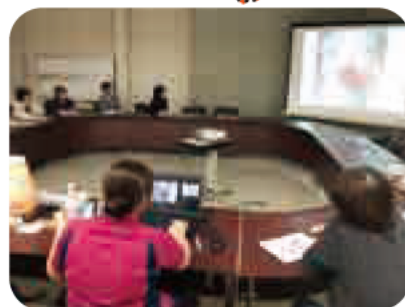
まちの保健室

長門市は焼き鳥祭り、おさかな祭り、各地区のふるさと祭りが毎年あります。子供からお年寄りまであらゆる世代の人が集まる会場で「まちの保健室」はお馴染みとなっています。来場者に血圧測定や体脂肪測定、血管年齢測定を行い、健康相談につなげました。11月からは、がん検診の啓発も併せて行いました。これからも地域に密着した活動を行う予定です。



在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業

長門支部の当事業は2年目を迎えました。看護代表者会議では、所属施設の看護の状況を共有でき、看護管理者の顔の見える関係づくりができました。また、それぞれの看護の現場に必要な情報を共有することや課題を明確にすることができました。研修会は地域で活躍するリソースナースを講師に迎えて「臨床推論を活かしたフィジカルアセスメント」「感染管理の基本」「ストーマケアの基本」の研修会を開催しました。今後もあらゆる場で働く看護職に働きかけ、地域の看護の質が向上できるように活動を展開していきます。



看護研究発表会

令和2年2月21日(金)長門市地域包括支援センターで看護研究発表会を開催しました。姫路大学看護学部西村伸子教授に指導をうけ、3演題の発表がありました。今後も引き続き研究に取り組んでいきたいと思ひます。



教育研修会

令和元年9月14日(土)下関医師会医療・介護連携推進室、室長の吉村直美先生をお迎えし、「地域包括ケアシステムの取り組み～この地域での現状と課題～」をテーマにご講演をいただきました。在宅へ向けた看看連携や多職種連携を深め、病院と地域をつなぐ取り組み方法の示唆をいただいた研修でした。



支部交流会

令和元年12月14日(土)関門医療センター医師の松本裕美先生をお招きし「エッセンシャルオイルの利用方法～リラックス法、ストレスを溜めないアロマ活用法～」について、支部交流会を開催しました。私たちの医療の現場は緊張感とストレスの多い職場で、ストレスマネジメントの方法を知っておくことは心と体の自己管理に役立つと言われていまふ。現場で働いている看護職の私たちに役立てることができればという講師の先生の想いを伝えていただきました。エッセンシャルオイルの力を借りて、元気をもらい、リフレッシュと癒しを得ることができました。



まちの保健室

「マーレ豊浦」と「道の駅堂街道西の市」の2か所です。年10回開催しています。健康相談や血管年齢測定、体脂肪測定等を行っています。令和元年度は、健康診査、がん検診の受診率等を確認することで、地域住民の方に健康促進や疾病予防について考えてもらう機会となりました。今後も地域に密着した活動を行っていききたいと思ひます。



「ひきこもり」について考えてみる

長門市役所 市民福祉部

地域福祉課 深水 潤

山口県看護協会には看護師・助産師・保健師が集まっています。そんな中で今回、保健師が地域でどんなことをしているのか？そんな話題が上がった時に…最近、メディアで取り上げられることが増えてきた「ひきこもりの課題」について、長門市の保健師の動きを紹介することになりました。

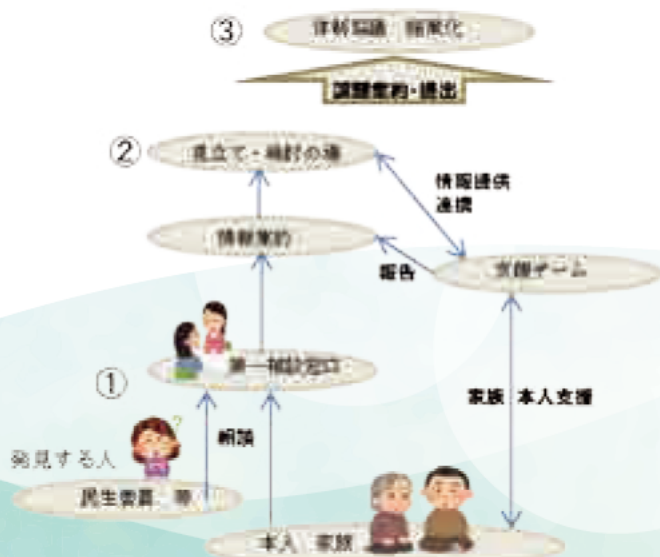
地域の保健活動では、まず地域の状況をキャッチし、情報を集め、分析する地域診断があります。そして、地域課題を挙げ、課題に対する施策を考え、実行していきます。PDCA サイクルの流れで動いています。

今回のテーマでもある「ひきこもり」では、まず地域の状況からキャッチしにくい課題が挙がっています。そして、複合的な課題を抱えていることの多い「ひきこもり」はどこが情報を集約していくのか、支援者間のマネジメントをどこがするのか、実行はどこがしていくのか、支援者はどこまで広がっていくのか、実行までに多くの課題が浮き彫りになり、支援体制の整理や構築が私たち地域保健の大きな動きになっています。

長門市では、令和元年度より「ひきこもり」支援体制の構築会議が本格的に動き出し、健康増進課、障害福祉課、社会福祉協議会、福祉総合相談窓口、健康福祉センターと幅広い支援者が集まり、話し合いを行っています。体制の構築に向けて意識していることは3つあります。

- ① 「ひきこもり」の相談を待つのではなく、多くの情報を拾い上げる「困り感」を相談しやすい福祉総合相談窓口の周知徹底。(家族も「ひきこもり」の意識が無い場合もあるため)
- ② ケース検討の場を設けることで介入が困難なケースを支援者が抱え込まない体制作り。
- ③ ケースから上がる複数の課題から、地域課題を集約し、課題解決や体制の確認、検討を協議する場の構築。

市町によっては体制に違いはありますが、部署ごとの縦割り相談窓口だった状況(市民が困り感に応じて窓口を探す状況)を総合的に受け付ける福祉総合相談窓口の設置(相談を拾い上げ、支援者が適当な支援者に繋ぐ)が行われています。「ひきこもり」に限らず、「どこに相談したらいいかわからない、けど困っている」そんな悩みを取りこぼさないように、看護職の皆様も、その地域ごとの窓口を把握していただき、困っている人を繋いでいただければと思います。





新人ナースへのエール Yell from a senior



長門市保健センター

村田 育未

私は保健師として働いて、2年が経ちました。

一年目の時は、分からないことも多く、日々の業務をこなすことに精一杯でした。

しかし、周りの先輩方に支えられ、何度も相談に乗ってもらいながら、今も元気に仕事をしています。大変なこともあります、住民の笑顔を見るとやりがいを感じることも多くあります。周囲に力になってくれる方がたくさんいるので、人との関わりを大切にともにがんばりましょう。



山陽小野田市民病院

助産師 下瀬 慶子

私はこの春3年目を迎えた助産師です。入職した当初は、出来ないことやわからないことが多く不安な毎日でしたが、優しく頼もしい先輩方の支えがあり少しずつ仕事の楽しさを感じられるようになりました。出産は一人ひとり違い毎回緊張しますが、赤ちゃんの産声とお母さんやご家族の笑顔を見た時に、助産師になって良かったとやりがいを感じる事が出来る素晴らしい仕事です。これからも一緒に頑張っていきましょう。



徳山リハビリテーション病院

病棟師長 大瀬戸 明子

看護管理に従事して12年目になります。

みなさんと同じようにワクワクしながら看護師としての道を歩み始めて23年。この経験から未来のみなさまにお伝えしたい言葉があります。新人ナースとしての1年間はあっという間に過ぎ、来年は2年目ナースとして後輩のよき相談役になられると思います。山本五十六海軍大将の「やって見せ、言って聞かせてさせてみて、褒めてやらねば人は動かじ」という名言があります。やって見せ（モデリング）言って聞かせてさせてみて（説明し実践してもらう）褒めてやらねば（承認）人は動かじ（承認されることで上達に繋がる）一緒に人財育成に取り組んで参りましょう。

みなさまの今後のご活躍を期待しています。



訪問看護ステーションなないろ

訪問看護師 西田 亜紀子

新人看護師の皆さん、新しい環境や人間関係・初めての経験ばかりで右も左もわからず不安と焦りだらけの毎日ではないでしょうか。私は訪問看護師として働いており、在宅看取りのご利用者様から「絶対に経験出来んことと出来ることがある。経験出来ることはしてみるがいい」と言われたことがあります。看護師としての経験値を上げるには、一日一日の積み重ねとまずはやってみる事です。そして貴重な経験をさせて頂いた患者様やご利用者様に、感謝と尊敬の気持ちを持って仲間と一緒に頑張りましょう！



医誠会 都志見病院

准看護師 久保田 絵美

私が新人の頃は、わからない事、困ったこと、不安になった事が沢山ありました。困難にぶつかり自信を無くしそうになった時も、上司や先輩からの指導のおかげで少しずつ成長でき、今の自分があります。新人も皆さんも患者様と関わっていく上で、不安になることがあれば、ひとりで悩まず相談し頼ることも大切です。看護師は「命」を預かる職業なので、一つ一つの仕事に責任を持って成長できるよう頑張ってください。応援しています。

委員会活動

学会委員会

令和元年度 学会委員会活動報告

委員長 坂井 浩美

学会委員会は第19回山口県看護研究学会開催にむけて、テーマを「いま一度、看護の本質を考えよう」とし、令和2年3月7日に開催にむけて準備をしておりました。会員の皆様の日頃の研究発表である一般演題では、口演10題・示説2題の発表が、特別講演では放送大学大学院の山内豊明教授から「いま一度、フィジカルアセスメントを考える～フィジカルアセスメント・臨床推論の考え方・進め方～」というご講演が決まっておりました。しかし、新型コロナウイルス感染症への対策のため中止となり、発表者および参加者の皆様とともに学会委員会も大変残念に思っています。一般演題の発表につきましては、第19回山口県看護研究学会抄録集で皆様と共有させていただいております。次回の看護研究学会が充実したものになりますように委員会一同、今後とも努めてまいります。

労働環境支援委員会

令和2年度 労働環境支援委員会活動紹介

委員長:種田 委員:藤田・吉岡・小阪・秋本・箕

私たち労働環境支援委員会は、働き続けられる職場づくりを支援するとともに看護職の確保・定着等について検討を行い活動しています。

本年度の3つの事業計画をご紹介します。

- 「ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を目指して」の研修会開催
看護職が生涯を通じて、健康かつ安全に働き続けられる為に必要な考え方やその視点、体制づくりについて理解し、実際の体制づくりに繋げることを目的とした研修会です。3日間コースで秋以降に開催する予定です。
- アドバイザー派遣等による相談会の開催
看護職員の勤務環境や教育体制等に課題を抱える医療機関等に対し、課題解決を図るため個別に相談・助言を行います。派遣アドバイザーは県内の認定看護管理者等で、1施設あたり2名程度のアドバイザーを3回程度派遣予定です。看護職の「やる気」を引き出したい、職場風土を変えたい等について相談されませんか……
- セカンドキャリア世代への働き方の支援
若年の労働人口が減少する中、セカンドキャリア世代と呼ばれる60歳前後の看護職を対象に、社会保険労務士によるライフプランの講義や、セカンドキャリア世代の働き方を支援している施設と働く看護職の事例紹介を行う予定です。

少子化の進行に伴い、新たな看護職の確保も難しい状況が予測される中、一人ひとりがやりがいを持って健康で働き続けられる持続可能な働き方、職場作りは重要です。令和元年度委員会メンバーで、有意義な研修会や相談会となるよう内容の検討を重ねました。開催詳細につきましては山口県看護協会ホームページ等で今後お知らせしますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により変更になることがあります。



教育委員会

令和元年度 教育委員会活動報告

教育委員長 奥土 久美子

教育委員会は、令和元年度事業計画の重点方針の取り組みの一つである「看護の質向上とキャリア形成の推進」を主たる活動とし一般教育研修を企画しています。活動内容は、「研修運営」「研修会評価」「教育計画立案」となります。平成元年度から、今までと違いJNAラダーの4つの看護実践ごとに研修を区分し、研修受講目安を「学習実践能力に応じた学習段階設定」から「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）の段階設定」に変更しました。看護の核となる4つの実践力をわかりやすく研修計画に取り入れ、受講者が段階に応じた研修参加ができるようにしています。また、看護職以外が参加可能な研修を拡大し、他職種連携推進につながる研修計画としました。受講者が効果的に学べる体験型学習も積極的に導入し、受講者にとって良い学びができるよう運営いたしました。教育委員会では、多くの会員が研修参加してもらえ、そして看護の質向上に反映できる研修企画に取り組んでいます。自信をもってお勧めできる研修です。研修会を受講していただき、更なるご意見をいただくことで研修企画をブラッシュアップしたいと思います。令和2年度一般教育研修会へのご参加よろしくお願いします。



会場のスクリーン、音響が新しくなりプロジェクターも上からの投影になりました。スクリーンのスペースが広く、画像もクリアになりました。いい環境での研修受講いかがですか。



山口県看護協会は Nursing Now キャンペーン に取り組んでいます。

Nursing now

看護の力で健康な社会を

Nursing Nowとは

ナイチンゲール生誕200周年となる2020年を迎え、看護職が持つ可能性を最大限に発揮し、看護職が健康課題に積極的に取り組み人々の健康の向上に貢献するために行動する世界的なキャンペーンです。

日本看護協会・山口県看護協会は看護連盟とともに「看護の力で健康な社会を！」をテーマにNursing Nowキャンペーンを展開しております。

Nursing Nowキャンペーンを通じて、本会の政策・事業の一層の推進を図ることは、SDGsの達成に貢献する。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



看護師職能委員会の活動

山口県看護師職能委員会

看護師職能委員長 折込 沙世

看護師職能委員会は、Ⅰ領域（病院）、Ⅱ領域（介護・福祉関係施設・在宅領域）の協力体制のもと、11名の委員で活動しています。

Ⅰ領域では、平成30年度に県内病院146施設に実施した「クリニカルラダーに関する調査」結果をもとに、日本看護協会 JNA クリニカルラダー（以下、JNA ラダー）の普及・推進にむけた活動を行ってきました。JNA ラダー DVD 研修、県内の導入・活用実態調査結果の報告、JNA ラダー導入・活用の実際についての報告会を開催しました。また、導入・活用に取り組む5施設を対象とし、令和元年10月23日、令和2年2月7日にクリニカルラダー講習会を開催しました。既に、JNA ラダーを導入・活用されている施設の看護部長や看護師長5名がファシリテーターとなり、共に考え、指導・助言、支援を行い、4施設が修了を迎えることができました。次年度は、新たな施設への支援を継続的に行う予定としています。

また、日本看護協会 看護師職能委員会Ⅰの活動方針である「病院看護管理者と行政保健師との連携」について課題発見・意見集約をするため、県内調査を実施しました。「病院看護管理者は行政保健師の業務や役割についての認識が薄い」「顔の見える連携づくりは進められてはきているが、病院機能によっては、連携しているという意識に格差がみられる」「病院看護管理者の意識が、役割を果たすために必要な人材育成への取り組みに影響している」こと等が明らかとなりました。この結果をうけて、保健師の役割や活動について理解を深めるとともに、連携強化にむけた病院看護管理者と行政保健師の交流会開催等についても、今後検討していきたいと考えています。



看護師職能委員 東 由利子

Ⅱ領域では、山口県新規事業の委託を受けて、「介護施設等の医療的知識習得関係研修（認定看護師出前講座）」を県内5施設で開催しました。この事業は、平成29年度の県内調査結果にて“人員不足や開催時間の不一致により研修会への参加が困難”の声があったことと、県内の認定看護師の人材資源活用を融合させた新規活動です。県内の介護老人保健施設・介護老人福祉施設の計201施設に意向調査を行い、出前講座希望施設の中から公正に5施設を選考させていただきました。“摂食嚥下”“感染対策”“看取り”をテーマに実施した研修の受講者からは「より専門的な話を聞くことができとても良かった」「こういう機会があれば定期的に学びたいと思った」等、満足度の高い感想が多くありました。また、講師の認定看護師の皆さんからは「講師の機会をいただけてありがたかった」「派遣要請があれば是非協力させていただきます」の声がありました。令和2年度は、できるだけ多くの施設職員に認定看護師出前講座研修を受講していただき、施設ケアの質向上に寄与できるように活動を拡大していく予定です。

令和元年度のⅡ領域交流会は令和2年3月に予定しておりましたが、残念ながら中止となりました。令和2年度も交流会を企画いたしますので、情報共有・意見集約・課題発見の場として、多くの皆様にご参加いただければと思っております。



様々な社会変化の中で活動に迷いを持つ保健師が増えている昨今、保健師職能委員会では、地道に保健活動を実践している保健師にスポットライトをあて、保健師から保健師へと技や心が伝えられ受け継がれるネットワークづくりに取り組んでいます。

その一環として、県内でひたむきに頑張っている保健師さんを紹介し応援します。

「“妊娠・出産・子育て”で悩む お母さんやご家族に寄り添いたい」

柳井市保健センター

主査 丸山 美寿恵 さん

プロフィール

血液型：B型

趣味：お笑いを見る（“かまいたち”のファン）

今年挑戦したいこと：富士山を見に行く

（眺めるという意味で登山ではありません。）



柳井市保健センターの職員さんです。

前列1番右が丸山さんです。

保健師になったきっかけ

母親が母子保健推進員をしていたため、保健師との関わりがあり、子どもの頃から保健師という仕事をなんとなく知っていました。

母からの勧めもあり、住民にとって身近な地域の中で、赤ちゃんからお年寄りまで全ての方を支援する保健師の仕事に魅力を感じるようになり、保健師になりたいと思いました。

仕事で苦労したこと

平成 31 年 2 月に柳井市子育て世代包括支援センター「やなでこ相談室」を開設したことです。担当者として、開設に向けて何からどう取り組むべきか手探り状態でしたが、とにかく病院の産婦人科医や助産師、地域の主任児童委員や子育て支援センター等に足を運び、様々な関係機関と協議を重ねました。とても大変でしたが、その一方で、各機関の活動や人々を知る機会となり、病院と行政、地域の支援機関との距離が近くなった気がします。そのため、今では何かあっても、「〇〇病院の△△さんに連絡（相談）してみよう」等、すぐに関係機関の方々の顔と名前が思い浮かぶようになり、お互いが“顔の見える関係”になることができたのは良かったですね。

仕事で嬉しかったこと

ある日、子育て中のお母さんから泣きながら電話がありました。育児不安が強かったのですぐに訪問し、お母さんの話をゆっくり聴くようにしました。（育児方法などの助言は必要時のみ行いました。）しばらくすると、そのお母さんは少しずつ元気を取り戻し、「あの時は救われたよ」と声をかけてくださいました。そして、その方はその後 3 人も出産され、何と今では 4 人のお子さんのお母さんです！ご出産のたびに、あの時のエピソードを話してくださいます。

保健師として、初めての育児で不安を抱くお母さんに寄り添い、少しでも力になることができたのかなと思えた経験です。

後輩へのメッセージ

私が保健師として大切にしていることは、住民の方に、「この人なら相談してみようかな」と思ってもらえるような雰囲気づくりです。相手の緊張感をほぐしながら、徐々に距離を近づけていけるように、言葉遣いも柔らかくするように心がけています。地域住民の方に気軽に話しかけられ、相手の気持ちに寄り添った声掛けや対応ができる保健師を目指しています。

インタビューを終えて

インタビュー中は、終始柔らかい雰囲気です。笑顔で話してくださり、とても優しい人柄がうかがえました。丸山さんのように、保健師活動を行う上で、相手の気持ちに寄り添う関わり、地域の中のさまざまな人材とのつながりを大切にしていきたいと感じました。

支部職能委員（長岡）・県職能委員（長井）

2020年4月から「eナースセンター」がリニューアルしました。

「eナースセンター」とは
都道府県ナースセンターが行っている無料職業紹介をインターネット上に展開したものが「eナースセンター」です。
ナースセンターに直接足を運ばなくても、インターネット上で、求人・求職の登録や検索、問い合わせ、応募、紹介
依頼などができます。

4月からリニューアルし、より充実した内容になっています。

この機会に利用を希望される方は、登録方法をご案内いたしますので、ナースセンターまでお電話ください。



ナースセンターとハローワークの連携事業について

全国の福祉人材コーナーを設置するハローワークにおいて実施しています。

平成 27 年からハローワーク山口、令和元年からハローワーク下関との連携事業を開始しました。

【主な事業内容】

- ・同意書へ署名をされた支援対象の求職者及び求人施設に関する情報をハローワークと共有する
- ・ハローワークのスペースでナースセンターの相談員が巡回相談を実施
- ・医療機関等との看護職の相談会・面接会の開催

【令和元年度相談会実施状況】

合 同 開 催	ハローワーク山口	ハローワーク下関
日 時	令和元年10月18日（金） 開催時間 14：00～15：30	令和元年11月6日（水） 開催時間 14：00～16：00
場 所	パルトピアやまぐち	下関市社会福祉センター
参加求人施設数	18施設	23施設
参加求職者人数	21人	44人(看護職以外の医療職と介護職を含む) 内訳：看護職19人、介護職18人、その他7人

求人・求職のご相談は、山口県ナースセンター（無料職業紹介所）をご利用ください。

TEL：0835-24-5791 FAX：0835-28-9688 E-mail：yamaguchi@nurse-center.net

eナースセンター（無料職業紹介サイト）

<https://www.nurse-center.net/nccs/>

とどけるん（看護師等の届出サイト）

<https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>

新型コロナウイルス感染症の拡大により、看護職の皆様のご協力が必要です。

● 現在就業されていない看護職の方へ

可能な限り現場への復職をお願いいたします。復職が不安な方への支援も行いますので山口県ナースセンターへご連絡ください。

● 離職時等にナースセンターへの届け出を提出されていない方へ

看護師等の人材確保の促進に関する法律の改正により、離職時等に看護師等免許保持者がナースセンターへ自身の情報を届け出ることが、2015年10月1日より努力義務化されました。届け出がお済でない方はナースセンターへご一報ください。

「離職時等の届出制度」届出者数（2020/3/1～2020/4/24）

	岩国市	周防大島町	平生町	田布施町	柳井市	光市	下松市	周南市	防府市	山口市	宇部市	山陽小野田市	美祢市	長門市	萩市	下関市	計
保・看	2						1			2	11	2				4	22
助・看						1			1		1					1	4
保・助・看						1					2						3
看	9	2	1	2	3	1		3	8	20	16	3	1		5	23	97
准								1		7	4			1	1	1	15
合 計	11	2	1	2	3	3	1	4	9	29	34	5	1	1	6	29	141

医療安全推進委員会から

No. 44

医療安全情報



個人情報とSNS

SNS への投稿は新聞やテレビ、インターネットへの無制限な公開と同じものと考えてください。

あなたが SNS に投稿した情報を見ることができる人たちである「信頼できるはずの人々」が本当に信頼できるかは誰にもわかりません。また、「信頼できるはずの人々」は、あなたより大切な人を守るためなら、あなたを優先しない可能性があります。

それ以前に、あなたの SNS への投稿は、どこかの国にあるかわからない、どのような法律で管理されているかわからないサーバに保管されている可能性があります。つまり、あなたの投稿内容があなたの思っているとおりにきちんと扱われているかは誰にもわかりません。また、誰にも検証できません。

あなたが毎日使用している SNS は、どこかの国の誰がどういう目的で作ったもので、現在誰がどのような意図で管理運用しているか、知っていますか？

想像してみてください。

あなたの自宅の玄関前に、知らない誰かがホワイトボードを立てました。そこにはこう書かれています。

「このホワイトボードは、あなたとあなたの信頼する人しか見ることができません。安心してどんな秘密でも書いてください。大丈夫、誰が書いたかはわからないし、誰にも見えないようにカバーを掛けておきますから。」

あなたがこのホワイトボードにどんな秘密でも書けるようなら、SNS も同じように扱って大丈夫ですけれどね。

期間限定

サンリオキャラクターパーク

ハーモニーランド

期間中[2020.8/1(金)~8/31(金)]に限り

入園+アトラクション利用のパスポートチケット(通常1席 5,000円)が無料! (一部アトラクションは別料金となります。)

無料ご招待

【会員とご家族様 対象】



下記利用申請書に必要事項をご記入の上、必ず「山口県看護協会会員証または、電子会員証」と一緒にハーモニーランドチケット売場に提示してください。入園とアトラクション利用のパスポートチケットをお渡しいたします。

【利用申請書】
①「利用申請書」②「会員証」③「電子会員証」④「入園券」⑤「アトラクション券」⑥「パスポートチケット」⑦「利用申請書」⑧「利用申請書」⑨「利用申請書」⑩「利用申請書」⑪「利用申請書」⑫「利用申請書」⑬「利用申請書」⑭「利用申請書」⑮「利用申請書」⑯「利用申請書」⑰「利用申請書」⑱「利用申請書」⑲「利用申請書」⑳「利用申請書」㉑「利用申請書」㉒「利用申請書」㉓「利用申請書」㉔「利用申請書」㉕「利用申請書」㉖「利用申請書」㉗「利用申請書」㉘「利用申請書」㉙「利用申請書」㉚「利用申請書」㉛「利用申請書」㉜「利用申請書」㉝「利用申請書」㉞「利用申請書」㉟「利用申請書」㊱「利用申請書」㊲「利用申請書」㊳「利用申請書」㊴「利用申請書」㊵「利用申請書」㊶「利用申請書」㊷「利用申請書」㊸「利用申請書」㊹「利用申請書」㊺「利用申請書」㊻「利用申請書」㊼「利用申請書」㊽「利用申請書」㊾「利用申請書」㊿「利用申請書」

TEL.0835-24-5790

ハーモニーランド無料ご招待中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大の状況をふまえ、会員の皆さまの健康と安全確保を最優先に考え、8/1～8/31 無料ご招待を中止とさせていただきます。

楽しみにしていただいたところ申し訳ありませんが、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

山口県看護協会

会員番号

利用申請者 (4歳以上の方)

ご利用日

氏名

氏名

氏名

ご利用者合計数(4歳以上)

名義

■ 問合せ先

係	TEL	FAX	e-mail
総務課(代表)	0835-24-5790		yamakan1@chive.ocn.ne.jp
教育課	教育研修係	0835-24-1230	k-kensyu@y-kango.or.jp
	認定教育係		nintei@y-kango.or.jp
事業課	0835-28-8123		jigyoku@y-kango.or.jp
山口県ナースセンター	0835-28-7512		yamaguchi@nurse-center.net
相談支援センター	0835-24-5791	0835-28-9688	nurse@y-kango.or.jp
山口県がん総合相談センター	0835-24-3593		sodan@y-kango.or.jp
	0835-28-7090		gsodan@y-kango.or.jp

■ 開館日・閉館日

- 山口県看護協会 事務局

開館日: 火曜日から土曜日 / 8:30~17:00 (図書室 / 9:00~16:30)

閉館日: 日曜日・月曜日・祝祭日

(但し、月曜日が祝祭日に重なった場合は翌日も閉館日になります)

● 山口県ナースセンター

開館日: 月曜日から金曜日 / 8:30~17:00

閉館日: 土曜日・日曜日・祝祭日

新型コロナウイルス感染拡大で、看護職の皆さんは、仕事でもプライベートでも大変な思いをされていることと思います。自分だけでなく家族までもが感染するかもしれない危険のなか、身を呈して頑張っておられる皆さんには本当に敬意と感謝の気持ちでいっぱいです。しっかりと休養を取って体調を整え、この局面を一緒に乗り越えて行きましょう。こんな時こそお互いへの気遣いと、労いの声掛けをして、支え合えるといいなと思います。

広報委員長 増野 由起子